

# 目次

## 1 キオクシアとは

- 1 目次・編集方針
- 2 ミッション・ビジョン・社名の由来
- 3 フラッシュメモリとは
- 4 沿革
- 5 At a Glance

## 2 トップメッセージ

- 7 社長メッセージ
- 10 会長メッセージ
- 12 財務統括責任者メッセージ

## 3 価値創造の取り組み

- 15 価値創造プロセス
- 16 市場・社会環境
- 18 キオクシアグループの強み
- 19 成長戦略
- 20 事業活動
- 24 戦略マテリアリティ
- 26 創出する社会価値

## 4 経営資本

- 31 最先端のフラッシュメモリ工場
- 35 テクノロジー
- 39 パートナリシップ
- 41 人材

## 5 ガバナンス

- 46 コーポレート・ガバナンス
- 51 リスクマネジメント・コンプライアンス
- 52 サステナビリティ・マネジメント

## 6 データセクション

- 54 財務ハイライト
- 55 非財務ハイライト
- 56 会社概要

### 編集方針

#### 報告対象範囲

キオクシアグループ  
(キオクシアホールディングス株式会社および連結子会社)  
※報告対象範囲が異なる事項については、対象となる報告範囲を個別に記載しています。

#### 報告対象期間

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)  
※一部、対象期間以前・以後の情報や、直近の活動報告も含んでいます。

#### 会計基準

国際会計基準(IFRS)

#### 参考ガイドライン

IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」、Global Reporting Initiative「GRIスタンダード」、Sustainability Accounting Standards Board「SASBスタンダード」など

#### 将来見通しに関する注意事項

本報告書には、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、将来の戦略や予想なども記載しています。これらは制作時点で入手できた情報に基づく将来の予測であり、実際にはさまざまな要素により、事業活動の結果や業績がこれらの見通しとは異なる可能性があります。

#### 情報開示体系図



本文中に記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

## 1 キオクシアとは

### 目次・編集方針

- ミッション・ビジョン・社名の由来
- フラッシュメモリとは
- 沿革
- At a Glance

## 2 トップメッセージ

## 3 価値創造の取り組み

## 4 経営資本

## 5 ガバナンス

## 6 データセクション

### 本報告書のポイント

キオクシアホールディングス(株)は、2025年から統合報告書を発行します。  
本報告書では、価値創造プロセスの全体像を示すとともに、成長戦略や事業活動、競争力の源泉となる経営資本、サステナビリティの取り組み、これらの企業活動を支えるガバナンスについて説明しています。

## ミッション・ビジョン

### ミッション Mission

#### 「記憶」で世界をおもしろくする

「記憶」の可能性を追求し、新しい価値を創り出すことで、  
これまでにない体験や経験を生み出し、  
世界を変えていく

### ビジョン Vision

「記憶」の技術をコアとして、  
一人ひとりの新たな未来を実現できる製品やサービス、  
仕組みを提供する

## 社名の由来

# KIOXIA

キオクシアとは、日本語の「記憶（KIOKU）」と、  
ギリシャ語の「価値（AXIA）」に由来します。  
人々や社会が生み出す「記憶」で、新しい価値を創り出し  
世界を変えていく存在になりたい。そんな想いがこの社名には込められています。

### 1 キオクシアとは

目次・編集方針

＜[ミッション・ビジョン・社名の由来](#)

フラッシュメモリとは

沿革

At a Glance

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

# フラッシュメモリとは

フラッシュメモリは、大容量のデジタルデータを記憶・保持できる半導体メモリで、電源を切ってもデータが消失しない「不揮発性」という特性を持つ点が最大の特長です。

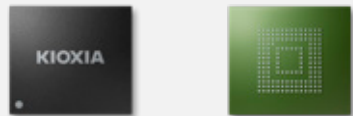
キオクシアは1987年に「NAND型フラッシュメモリ」を発明しました。この革新的な技術を皮切りに、2007年には世界で初めて3次元フラッシュメモリ技術「BiCS FLASH™」を発表。40年近くにわたり先端技術の開発を重ね、フラッシュメモリ分野におけるリーディングカンパニーとしての地位を築いてきました。

現在、フラッシュメモリは、スマートフォン、PCなどのデジタルコンシューマプロダクツに加え、生成AIの活用が進むAIサーバーや、クラウドサービスなどを支えるデータセンターといった社会インフラの中核にも広く採用されており、デジタル社会を支える基盤技術として、その重要性は日々高まっています。

## キオクシアグループの製品

### フラッシュメモリ

スマートフォン、タブレット、車載・産業機器向けなど、幅広いニーズに応える多彩なフラッシュメモリ製品を提供しています。



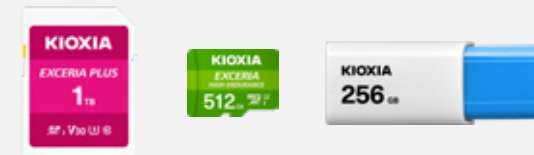
### SSD (Solid State Drives)

クライアントPCからエンタープライズサーバー、クラウドデータセンターに至るまで、幅広い市場向けのSSD製品を提供します。個人向けのSSD製品も取り揃えています。



### SDメモリカードなどリテール向け製品

デジタルカメラ、スマートフォン、ドライブレコーダーなど向けのmicroSD/SDメモリカードと、さまざまな容量やデザインを展開するUSBフラッシュメモリを取り揃えています。



## 1 キオクシアとは

目次・編集方針

ミッション・ビジョン・社名の由来

### > フラッシュメモリとは

沿革

At a Glance

## 2 トップメッセージ

## 3 価値創造の取り組み

## 4 経営資本

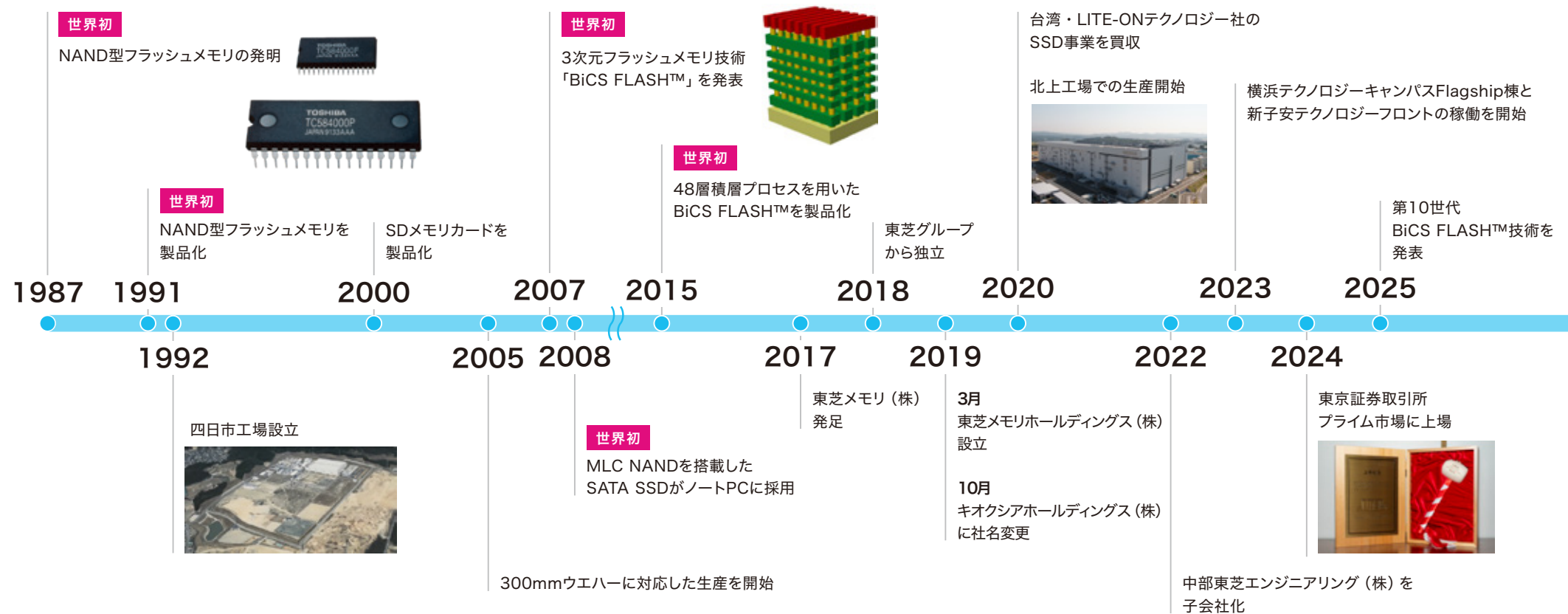
## 5 ガバナンス

## 6 データセクション

# 沿革

キオクシアグループは、1987年のNAND型フラッシュメモリの発明以来培ってきたフラッシュメモリ技術と、それを支える人材を礎に、社会のデジタル化・高度情報化を支える企業としての使命を担ってきました。当社グループは2017年に（株）東芝から分社した後も成長を遂げ、現在では、グループ全体で約1万5千人の社員を擁し、連結売上収益は1兆円を超える規模へと拡大しています。

今後も、フラッシュメモリ技術の進化を追求し続けるとともに、その技術を通じて、情報社会の持続的な発展と、人々のより豊かで便利な暮らしの実現に貢献していきます。



## 社会変化

### 1990年代

- ・PCの普及
- ・インターネットの普及

### 2000年代

- ・デジタルカメラの普及
- ・デジタルオーディオプレーヤーの普及
- ・カメラ付き携帯電話の普及

### 2010年代

- ・スマートフォンの普及
- ・SSD搭載PCの普及
- ・クラウドサービスの拡大

### 2020年代

- ・AI、IoT、ビッグデータ活用の増加
- 人々が生成するデータ量が爆発的に増加し、新しいアプリケーションが登場

## 1 キオクシアとは

目次・編集方針

ミッション・ビジョン・社名の由来

フラッシュメモリとは

沿革

At a Glance

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

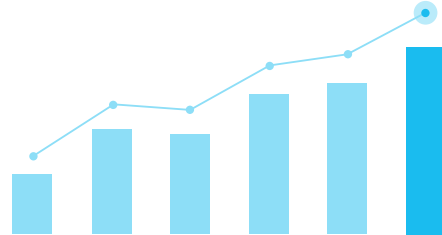
# At a Glance

## 売上収益

※2024年度、連結ベース

1兆7,065億円

スマートフォン、PC、エンタープライズサーバーやデータセンター向けのフラッシュメモリ・SSDの売上が中心です。

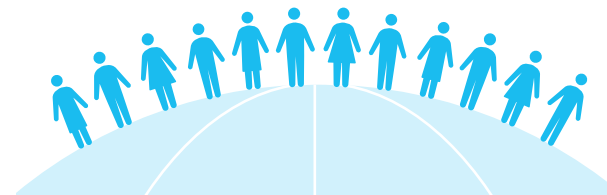


## 連結従業員数

※2025年3月31日現在

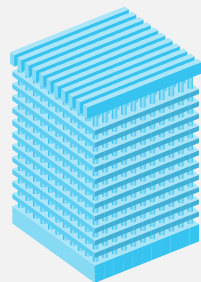
約15,000名

多様なバックグラウンドを持つ従業員が個々の強みを活かしてグローバルに働いています。



## 技術開発力

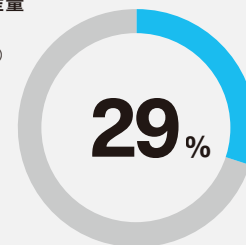
フラッシュメモリ業界のパイオニアとして培った技術力、知的財産活動の取り組みが評価され、世界で最も革新的な企業・機関が選出される「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター」を4年連続で受賞。また、2025年に電気・電子分野の国際学会IEEEより、「IEEE Corporate Innovation Award」を受賞するなど、高く評価されています。



## 製造力

四日市工場、北上工場が連携し、世界有数の生産規模と、AI・ビッグデータも活用した高い生産効率を実現し、拡大するフラッシュメモリ需要に対応します。両工場を合わせたフラッシュメモリの生産量（記憶容量ベース）は、当社グループと、米国Sandiskグループとの製造合弁会社分を合わせて、世界最大級となる29%※のシェアとなります。

フラッシュメモリ生産量  
世界シェア※  
(記憶容量ベース、2024年度)

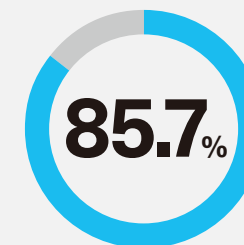


※出典：TechInsights Inc. 「NAND Market Report Q2 2025」

## グローバル展開

当社は9の国・地域に展開しており、米国、欧州、アジアに販売・顧客サポートの拠点を有しています。国内外の拠点が強力に連携することで、技術開発力と生産力を強化しています。海外売上比率は85.7%で、世界各地の顧客やビジネスパートナーとの強固な関係を構築しています。

海外売上比率  
(2024年度)



## 1 キオクシアとは

目次・編集方針

ミッション・ビジョン・社名の由来

フラッシュメモリとは

沿革

[▶ At a Glance](#)

## 2 トップメッセージ

## 3 価値創造の取り組み

## 4 経営資本

## 5 ガバナンス

## 6 データセクション